



# コロナに負けない！ 学官民連携オンライン出前講座

作成：上下水道局海外事業課 発行日：令和3年1月28日



コロナの感染拡大が収まらない中、オンラインの特性を生かし、市民の皆さんへ私たちの活動をいかに効果的に情報発信できるか、日々、試行錯誤しています。

その一環として、本年1月18日、九州国際大学現代ビジネス学部の藤井大輔准教授と協力し、大学でのオンライン出前講座を実施しました。

藤井先生は、長年、カンボジアでの国際協力に携わっており、国際協力やカンボジアに関心のある学生が、先生の講義を受講しています。上下水道というテーマと学生の興味・関心をいかに引き付けることができるか、議論を重ねました。

オンライン講座のメリットの一つには、どこからでも講演に参加できることが挙げられます。そのメリットを十分に生かして、複数の講師にカンボジアからオンラインで出演してもらい、学官民連携の出前講座を企画しました。

カンボジアでのプロジェクト管理のため出張中の海外事業課職員、JICA専門家として派遣中の職員、医療系NPO法人・ジャパンハートカンボジアこども医療センターのスタッフという多彩な講師が講演を行いました。様々な立場から、上下水道分野での国際技術協力を語るという初めての試みでした。

外部の方に出席講座にご出演いただくのは、今までにないものです。これもオンラインだからこそできる企画でした。医療にとって水がいかに重要か、現地でのどのようなことで水に困っているか、体験談を交えて説明していただきました。

当初、大学の教室で実施予定でしたが、緊急事態宣言発令により、急きょ、学生も自宅等から参加する完全オンライン方式に切り替えて実施しました。コロナ禍においても、情報発信を継続できるのもオンラインのメリットだと改めて感じました。

将来、本日の講義に参加した学生さんがカンボジアを訪問した際、「水」を通して北九州市とカンボジアとの国際協力の成果を実感できることを期待しています。

## 報告者：上下水道局 海外事業課 主任 田口 博崇

この度、初めてオンライン講座で講師を務めました！マイクに向かって語りかけていくスタイルはラジオが近いなあという印象を受けました。

学生からの質問・意見は、チャットで受け付けたので、なおさら・・・

オンライン講座はメリットも多いのですが、参加者の表情がわかりづらいというデメリットもあります。オンラインというスタイルは、今後も続くと思われしますので、一層の工夫に努めたいと思います！



オンライン講座スタート！  
45名の学生が参加してくれました



講師は日本とカンボジアから出演  
質疑応答では、即席パネルディスカッション  
のようになり、議論が深まりました



ジャパンハートカンボジア  
こども医療センター・山下氏のお話

安全な水を確保するために、毎日、職員が貯水タンクに薬品を入れたり、水質測定をしているそうです



オンライン講義中の光景